

令和元年度第3回伯耆町子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和元年 11 月 29 日（金）14：00～15：45

場 所 伯耆町役場本庁舎 3 階大会議室

出席委員 12 名

笹間直樹（あさひ保育所保護者）※会長

井澤奈緒美（溝口保育所保護者）

小早川梓（溝口小学校保護者）※副会長

岩田範子（こしき保育所所長）

清水さとみ（小規模保育所こどもパル所長）

兵江律子（子育て支援センター所長）

米田述史（岸本放課後児童クラブ支援員）

大田秀明（岸本小学校放課後子供教室コーディネーター）

森安和美（主任児童委員）

小澤敦彦（岸本小学校校長）

後藤弥（教育長）

阿部泰（副町長）

欠席委員 なし

事務局 福祉課（木村利郎、景山昌文、馬詰美保子）

健康対策課（景山祐子、山上志保）

教育委員会事務局（幅田典代）

1. 開会

発言者	発言内容
会長	只今より、令和元年度第3回伯耆町子ども・子育て会議を開催する。本日の出席状況について、事務局から報告を求める。
事務局	委員総数 12 名のうち出席委員 12 名と、委員の半数以上の出席。伯耆町子ども・子育て会議条例第 6 条の規定に基づき、本会議が成立していることを報告する。

2. 報告事項等

発言者	発言内容
会長	事務局から説明を求める。
事務局	第 2 回会議の議事録の確認をお願いする。誤り等あれば事務局へ。後日、町ホームページへ会議資料とともに掲載する。
会長	事務局より説明のあった内容について、質問・意見はないか。
委員	アンケートの結果についての内容はどうなったか。
事務局	事務局から説明した内容については、資料に代えているため記載はしていないが、委員からの質問等については、「3. 議事」の「(1) 伯耆町子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果について」の中

	で、その内容を記載している。
委員	議事録の中で、事務局から「アンケートで出た不満や意見は、関係する職場内で共有し、事業やサービスに反映していくことを考えている。」とあるが、この点についてはどうなったか。
事務局	現時点では、共有できている部分とできていない部分もあり、全ての意見を反映することはできていないが、今後も検討していく。
会長	その他ないか。(質疑なし) 議事に移る。

3. 議事

(1)「保育所の利用定員の見直しについて」

発言者	発言内容
会長	事務局から説明を求める。
事務局	(事務局説明)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。 (質疑なし) 次の議事に移る。

(2)「第2期伯耆町子ども・子育て支援事業計画(素案)について」

発言者	発言内容
会長	事務局から説明を求める。
事務局	(事務局説明)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	(p28～29) 放課後児童クラブの量の見込みの学年分けが「低学年・高学年」となっているが、2つに分けるのであれば「下学年・上学年」としてはどうか。3つに分ける場合は、「低・中・高」と分ける。
事務局	(教育現場で通常使用する表現に合わせて)「下学年・上学年」に修正する。
委員	(p30) 放課後子供教室の概要欄に「放課後や夏休み等の・・・」とあるが、(教育委員会では)夏休み等には公民館の体験教室等を開催しており、夏休み中に放課後子供教室を開催する予定はないので修正をお願いしたい。 また、アンケート結果(p16～17)の記載が「放課後子ども教室」となっているので、表記を統一して欲しい。
事務局	概要の説明文から「夏休み等」を削除する。 「放課後子供教室」の表記については、記載誤りのため漢字表記へ訂正する。(「子ども」→「子供」)なお、アンケート調査票については、過去の会議で指摘があったため、漢字表記に修正した上で配布した。
委員	夏休み中の活動について、放課後児童クラブは1日中開所しているが、公民館等での体験教室の利用は、人数が少なかったり、利用する子どもが限られたりしていないか。福祉課では、利用実態を把握しているか。夏休みとそれ以外のときなど。
事務局	放課後子供教室や夏休み中の体験活動は、実施主体が教育委員会のため、福祉課では詳細を把握していない。

委員	<p>夏休み中の公民館や社会教育施設での体験活動については、事業数や参加者数は集計しているが、その中に児童クラブの子どもがどのくらい含まれているかは把握していない。昨年度は、50以上の事業があり、約1000人（延人数）の参加があっている。</p> <p>児童クラブの子どもの夏休み中の公民館教室等への参加については、担当者等が参加する連絡会の中でも協議されているが、児童クラブ利用中の他の活動への参加については、移動中の事故等の課題があり、対応が難しいと聞いている。今後、そのあたりの調整がうまくできれば、有効的に活用してもらえらると思う。</p>
会長	その他ないか。
委員	<p>色々な事業が体系化されコンパクトにまとまった良い計画だと思いが、計画に記載してある事業をただ単に実施するだけで、基本理念である「子どもと親と地域がともに育ちあうまち」が実現できるのか、という疑問もある。人と人、大人と子ども、先生と保護者などが“つながる”といった、土台になるようなものがあつた上で事業を展開していく必要がある。</p> <p>例えば、保育所と学校が一緒に行っている「あいさつのひびきあうまちづくり」は、子どもと子ども、地域がつながっていくようなことを土台にして、色々な事業を色々な機関で展開している。</p> <p>子ども達が、将来のまちの担い手として、地域とつながり、地域を好きになり、伯耆町の未来が作られる、そういった未来づくりの根幹になる計画だと思うので、そうしたところを大事にして欲しい。</p> <p>子どもや親への支援も充実しているが、それだけでは良いまちづくりにならないと思うので、もう一つ何か欲しい。</p>
委員	<p>基本目標「3. 地域全体で子ども・子育てを支えるまちづくり」(p36～)を進める上で、記載されている取り組みが、他（の基本目標）に比べると薄く感じるということではないか。</p> <p>地域や社会で支えるという点で、教育委員会では「コミュニティスクール」など、地域での協働による施策を展開している。</p> <p>親だけでなく、祖父母や地域の人が子育てに参画してもらえらるような、啓発やセミナーなどが必要だと感じる。</p>
委員	35頁の経済的な支援の充実のところに、「就学援助制度」を追加して欲しい。
委員	5年後の具体的な到達目標が設定してあるといいと思う。
委員	会社などで、基本理念のほか、行動理念や行動目標というのを社員に示すことがある。思いや理念に対して、(町民が)とるべき行動や役割を示せたら、もう少し(計画が)身近に感じられるのではないかと考えた。
事務局	ご意見ありがとうございます。本日いただいた意見を踏まえて、計画素案の修正を検討する。
会長	その他ないか。(質疑なし) 次の議事に移る。

(3) 「次回会議の開催日について」

発言者	発言内容
会長	事務局から説明を求める。
事務局	(次回の開催日程について) 日程調整の結果、次回の会議は、令和2年2月5日(水)午前10時から開催をお願いしたい。
会長	事務局から提案のあった次回開催日程について意見ないか。 (委員からの意見なし) では、次回の開催は2月5日(水)午前10時から開催する。

(4) その他について

発言者	発言内容
会長	事務局から他の議事あるか。
事務局	ない

4. その他

発言者	発言内容
会長	続いて、「4. その他について」事務局から説明を求める。
事務局	<パブリックコメントの実施について> 後日、修正した計画素案を委員へ届けると同時に、計画(案)として、住民からのパブリックコメントを実施する。時期は、12月中旬から1月中旬を予定。パブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する町の考え方は、次回の会議で報告する。
会長	事務局から説明のあった内容について、質問・意見はないか。 (質疑なし)

5. 閉会

発言者	発言内容
会長	本日の会議の日程は全て終了した。これをもって、令和元年度第3回伯耆町子ども・子育て会議を終了する。